

**Asteria<sup>✦</sup> warp**

**インストールガイド**

## ご注意

このソフトウェアの著作権は、アステリア株式会社に所属します。このソフトウェア及びマニュアルの一部または全部の使用、複製、開示は、本製品の使用許諾契約書に記された制約条件の下でのみ使用することができます。

このソフトウェアは、原子力、航空宇宙産業、医療あるいはその他の人命に危険が伴う用途を目的として開発されておられません。このソフトウェアを上述のような用途に使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生した場合にアステリア株式会社は一切責任を負いかねます。

このソフトウェアの仕様およびマニュアルは、将来予告無しに変更することがあります。

ASTERIA およびアステリアは、アステリア株式会社の登録商標です。

このマニュアルに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその会社および製品を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

2025 年 12 月 17 日

アステリア株式会社

Copyright © 2025 Asteria Corp. All rights reserved.

# 目次

1. インストールの前に .....	1
1.1. ユーザーサイトへの登録 .....	1
1.2. インストーラーの取得 .....	1
1.3. ライセンスキーの取得 .....	1
1.4. ユーザーの作成 .....	1
1.5. Java のインストール .....	1
1.6. 注意事項 .....	2
2. フローサービスのインストール .....	5
2.1. インストール手順 .....	5
2.2. 初期設定の実行 .....	23
3. フローデザイナーのインストール .....	30
4. インストール後 .....	41
4.1. フローサービスの起動 .....	41
4.2. フローサービスの停止 .....	41
4.3. フローデザイナーの起動 .....	41
4.4. フローサービス管理コンソールへのアクセスについて .....	42
4.5. フローサービス管理コンソールへのログインについて .....	42
4.6. アダプターの適用方法について .....	44
4.7. フローサービスの利用方法について .....	47
5. アンインストール .....	48
5.1. サーバー アンインストール手順 .....	48
5.2. フローデザイナー アンインストール手順 .....	48

# 1. インストールの前に

## 1.1. ユーザーサイトへの登録

ASTERIA Warp のインストーラーやライセンスキーは、ユーザーサイトからダウンロードします。ASTERIA Warp をインストールする前にユーザーサイトへアカウントを登録してください。

【URL】 [https://asteria.com/mng/user\\_input](https://asteria.com/mng/user_input)

## 1.2. インストーラーの取得

ユーザーサイトへログインし「ダウンロード」からインストーラーをダウンロードします。ユーザーサイトのログイン URL は次の通りです。

【URL】 <https://asteria.com/mng/login>

## 1.3. ライセンスキーの取得

ユーザーサイトへログインし、トライアルライセンスを取得する場合は、「ダウンロード」からライセンスキーをダウンロードします。正式ライセンスを取得する場合は、購入製品情報からダウンロードします。

## 1.4. ユーザーの作成

ASTERIA Warp をインストールする前に、ASTERIA Warp を実行するためのユーザーを OS 上に作成する必要があります。管理ユーザー（root など）で ASTERIA Warp サーバーをインストールする際は、セキュリティに十分注意して運用を行ってください。

## 1.5. Java のインストール

ASTERIA Warp は実行環境として Java Development Kit 21 以降の LTS 版(x64)を使用します。Oracle 社の Java ダウンロードページから Java21 以降の LTS 版(x64)のインストーラーをダウンロードして実行環境にインストールして下さい。次の URL は Java21 のダウンロードページの URL です。

【参考 URL】 <https://www.oracle.com/jp/java/technologies/downloads/#java21>

※Oracle 社以外にも OpenJDK ディストリビューションの JDK を使用することができます。サポートされるディストリビューションにつきましては製品サポートページをご覧ください。

※ARM64 版は使用できません。

※インストールする ASTERIA Warp のバージョンでサポートされている LTS 版をご使用ください。

※Java の自動アップデートが実施されると、ASTERIA Warp が起動できなくなる場合があります。Java の自動アップデートを無効にする設定を行ってください。

## 1.6. 注意事項

### 1.6.1. ASTERIA Warp 2406 以前のバージョンからのアップデート

ASTERIA Warp 2406 以前のバージョンから ASTERIA Warp 2412 以降のバージョンへ直接バージョンアップすることはできません。ASTERIA Warp 2406 以前のバージョンからバージョンアップを行う場合は「環境移行ガイド」をご参照ください。

### 1.6.2. ASTERIA Warp 2412 からのアップデート

ASTERIA Warp 2412 からバージョンアップする場合はオンラインバージョンアップすることは出来ません。次節のオフラインバージョンアップの手順でバージョンアップしてください。

### 1.6.3. バージョンアップインストール

#### ■ オンラインバージョンアップ

オンライン環境では管理コンソール (FSMC) を用いて次の手順で ASTERIA Warp サーバーをバージョンアップすることができます。

1. Warp サーバーを停止します。
2. **インストールフォルダーとデータフォルダーをバックアップします。**
3. Warp サーバーを起動します。
4. 管理コンソールの「システム>アップデート>システム」画面を表示します。最新バージョンが表示されていることを確認し、「適用」ボタンをクリックします。
5. Warp サーバーを停止します。**OS やサーバーマシンを停止しないようにしてください。**
6. **Windows のスタートメニューから Warp サーバーを起動します。** 起動時に自動的にバージョンアップが行われます。

#### ■ オフラインバージョンアップ (Windows 版)

インストーラーを用いてバージョンアップする場合は次の手順で ASTERIA Warp サーバーをバージョンアップすることができます。

1. Warp サーバーを停止します。
2. **インストールフォルダーとデータフォルダーをバックアップします。**
3. インストーラーを使用して上書きインストールします。上書きインストールとはインストールフォルダーとして古いバージョンのインストールフォルダーを指定してインストールすることです。また、インストーラーで JavaVM の選択画面が表示されますが、Warp サーバーで使用していた JavaVM を選択してください。
4. インストール時に古いバージョンのアンインストールが実行されます。アンインストールの最後にシステムを再起動するかどうかの選択画面が表示されることがありますが、そこでは**「後でシステムを再起動する」を選択してください。**
5. インストールが完了したらインストーラーを終了します。

6. 【ASTERIA Warp 2412 からバージョンアップする場合のみ】

2.でバックアップしたフォルダーから次の設定ファイルをコピーします。

コピーするファイル

・[バックアップしたインストールフォルダー]/boot/bin/bootstrap.properties

コピー先のフォルダー

・[インストールフォルダー]/boot/bin

7. **Windows のスタートメニューから Warp サーバーを起動します。** 起動時に自動的にバージョンアップが行われます。

■ オフラインバージョンアップ (Linux 版)

インストーラーを用いてバージョンアップする場合は次の手順でASTERIA Warpサーバーをバージョンアップすることができます。

1. Warp サーバーを停止します。
2. **インストールフォルダーとデータフォルダーをバックアップします。**
3. インストーラーを使用して上書きインストールします。上書きインストールとはインストールフォルダーとして古いバージョンのインストールフォルダーを指定してインストールすることです。また、インストーラーで **JavaVM** の選択画面が表示されますが、Warp サーバーで使用していた **JavaVM** を選択してください。
4. Warp サーバーを起動します。起動時に自動的にバージョンアップが行われます。

■ ASTERIA Warp フローデザイナーのバージョンアップ

インストーラーを用いて次の手順でASTERIA Warp フローデザイナーをバージョンアップすることができます。

1. フローデザイナーを停止します。
2. インストールフォルダーをバックアップします。
3. インストーラーを使用して上書きインストールします。上書きインストールとはインストールフォルダーとして古いバージョンのインストールフォルダーを指定してインストールすることです。また、インストーラーで **JavaVM** の選択画面が表示されますが、フローデザイナーで使用していた **JavaVM** を選択してください。
4. インストール時に古いバージョンのアンインストールが実行されます。アンインストールの最後にシステムを再起動するかどうかの選択画面が表示されることがありますが、そこでは「**後でシステムを再起動する**」を選択してください。
5. インストールが完了したらインストーラーを終了します。
6. フローデザイナーを起動します。

#### ■ バージョンアップの注意事項

バージョンアップインストールと同時に **Java** を変更することはできません。**Java** を変更する場合は、バージョンアップを実施した後に、フローサービス管理コンソールから使用する **Java** を変更してください。

バージョンアップを実行した後で、既存のプロジェクトをすべてコンパイルしてコンパイルエラーが発生しないことを確認してください。もしもコンパイルエラーが発生した場合には、フローを修正し動作検証を行ってください。

#### 1.6.4. エディションの変更について

Core、Core+、Core++、Standard、Enterprise の各エディション間の変更は、フローサービス管理コンソールからライセンスキーを置き換えた後に、**Warp** サーバーを再起動します。

#### 1.6.5. Windows 版でのアンインストールについて

Windows 版でアンインストールを行うと、アンインストーラーが実行されます。アンインストーラーの実行ではインストール時に選択した **Java** が使用されますので、インストール時に選択した **Java** がインストールされていることを確認してください。インストール時に選択した **Java** がすでにアンインストールされている場合には、Oracle 社の **Java** アーカイブダウンロードページから同じバージョンの **Java** を再度インストールしてください。

【URL】 <https://www.oracle.com/jp/java/technologies/downloads/archive/>

※Oracle 社以外の OpenJDK ディストリビューションでは過去のバージョンがダウンロードできないことがありますのでインストール時に使用したバージョンをアンインストールしないようにご注意ください。

#### 1.6.6. Linux 版での日本語フォントのインストールについて

フローサービス管理コンソールでは、一部の画面表示にサーバー側で生成した画像を使用しています。サーバー側で生成する画像には日本語文字列が含まれているため、サーバー側に日本語フォントがインストールされていないと日本語文字列が文字化けします。**Linux** 環境で使用する場合には、必ず日本語フォントをインストールして下さい。

## 2. フローサービスのインストール

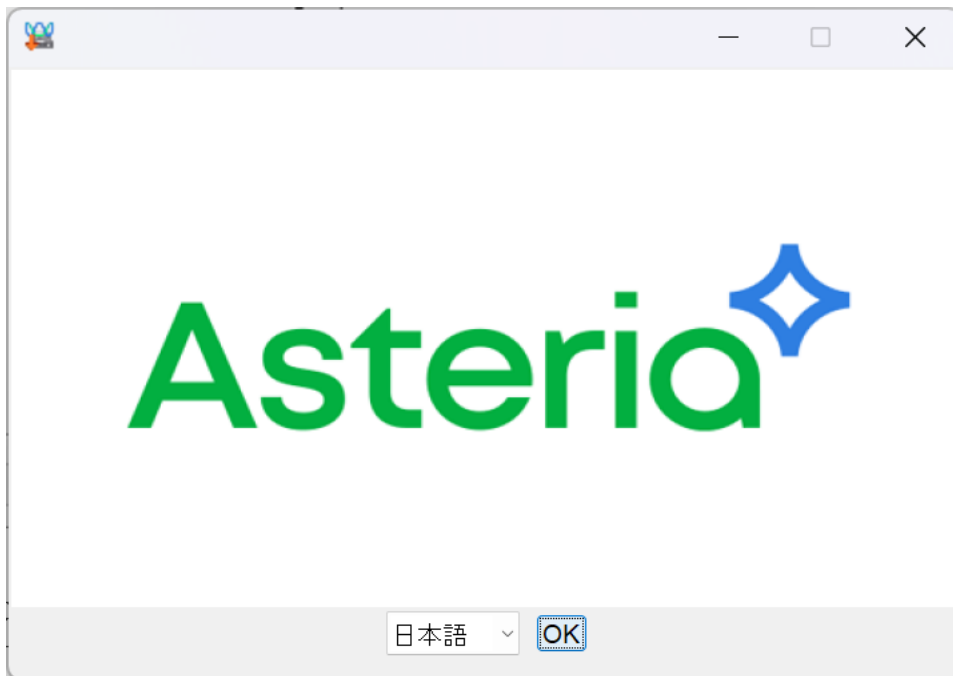
### 2.1. インストール手順

#### 2.1.1. Windows の場合

5. インストールユーザーで Windows にログインします。
6. フローサービスが起動している場合は停止します。
7. ユーザーサイトからダウンロードした以下のファイルを実行し、ASTERIA Warp サーバー(以下、サーバーと呼びます)のインストーラーを起動します。

`install-asteriawarp6-win.exe`

8. 言語の選択画面が表示されます。



インストーラーで使用する言語を選択した後「OK」をクリックしてください。

9. 開始画面が表示されます。



インストールに際しての注意事項が表示されますので文章を読んだ後「次へ」をクリックしてください。

10. 使用許諾契約画面が表示されます。

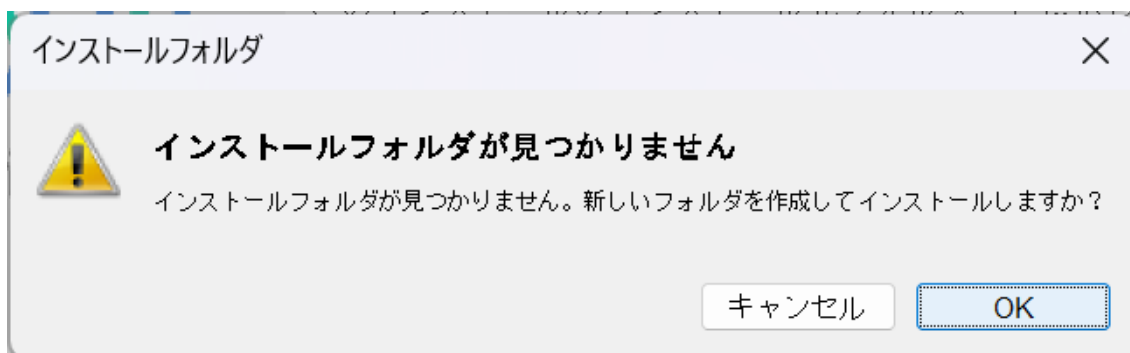


ソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意する」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

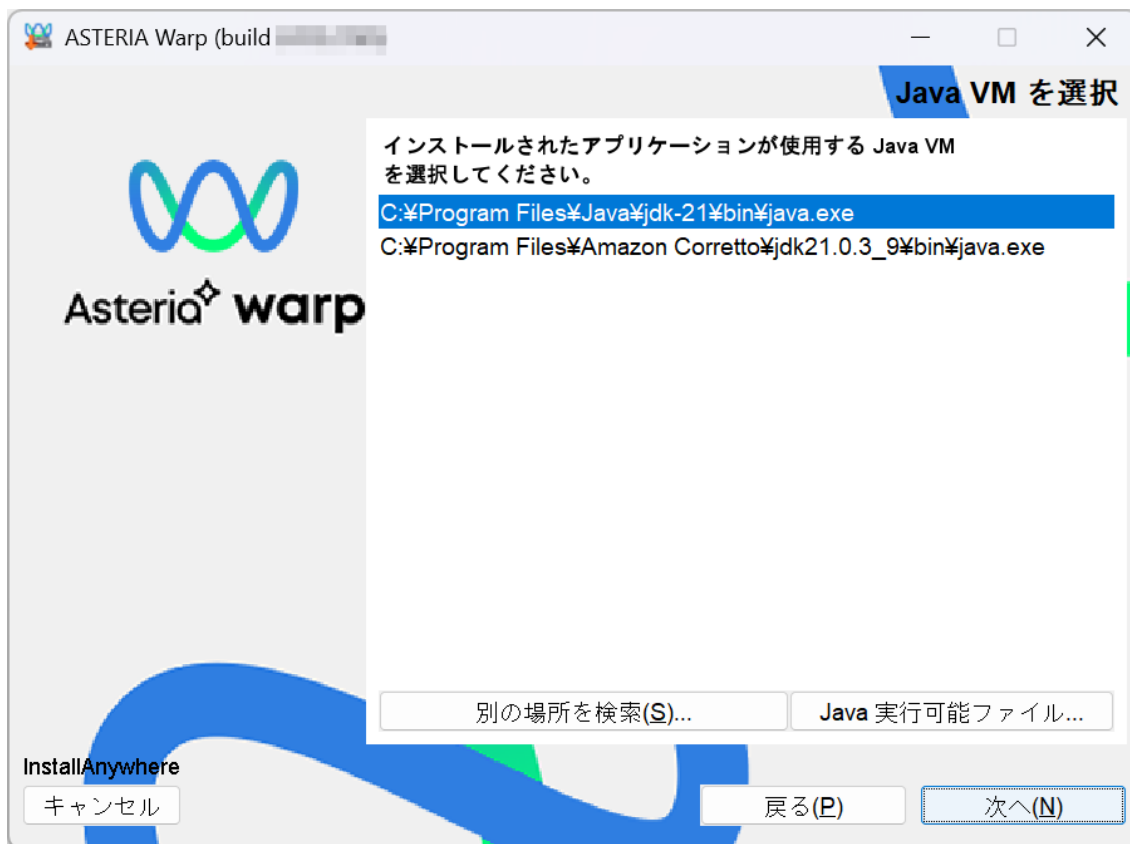
11. インストールフォルダーの選択画面が表示されます。



サーバーをインストールするフォルダを指定してください。バージョンアップする場合は旧バージョンのインストールフォルダーを指定してください。指定したフォルダーが存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



12. JavaVM の選択画面が表示されます。



事前にインストールした Java のファイルパスを選択します。使用する Java が一覧に表示されていない場合は「別の場所を検索」ボタンで一覧以外の Java を選択することができます。

11. で旧バージョンのインストールフォルダーを選択した場合はこの画面は表示されません。

13. Windows サービスの登録画面が表示されます。



ここでは Windows サービスに登録するかどうかを選択します。

「Windows サービスを登録します」をチェックした場合、Windows サービスとして登録され、サービス実行ができるようになります。

設定したら「次へ」をクリックしてください。

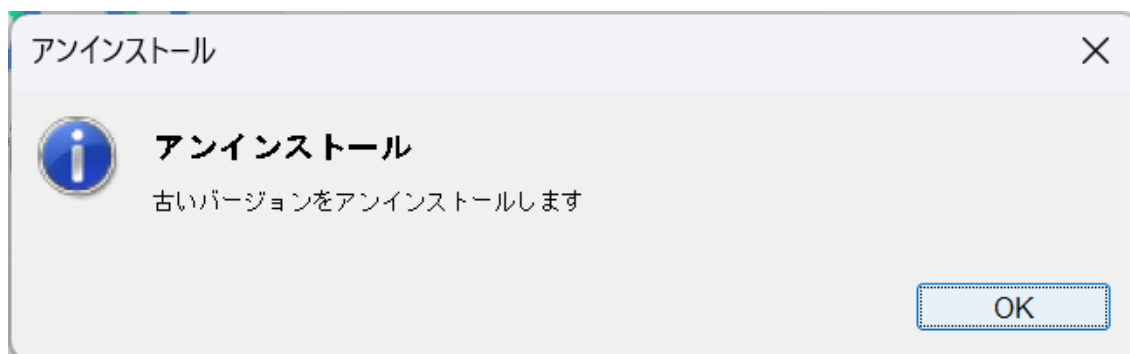
14. ショートカットフォルダの選択画面が表示されます。



スタートメニューに登録する際のショートカットを作成する場所を選択します。  
ショートカットフォルダを選択したら「次へ」をクリックしてください。

15. 過去のバージョンからアップデートする場合、過去のバージョンをアンインストールします。ここからはアンインストールが行われる場合に表示されます。新規にインストールする場合は 20. へお進みください。

16. アンインストールの開始画面が表示されます。



過去のバージョンをアンインストールします。「OK」ボタンをクリックしてください。

17. アンインストーラーが起動します。

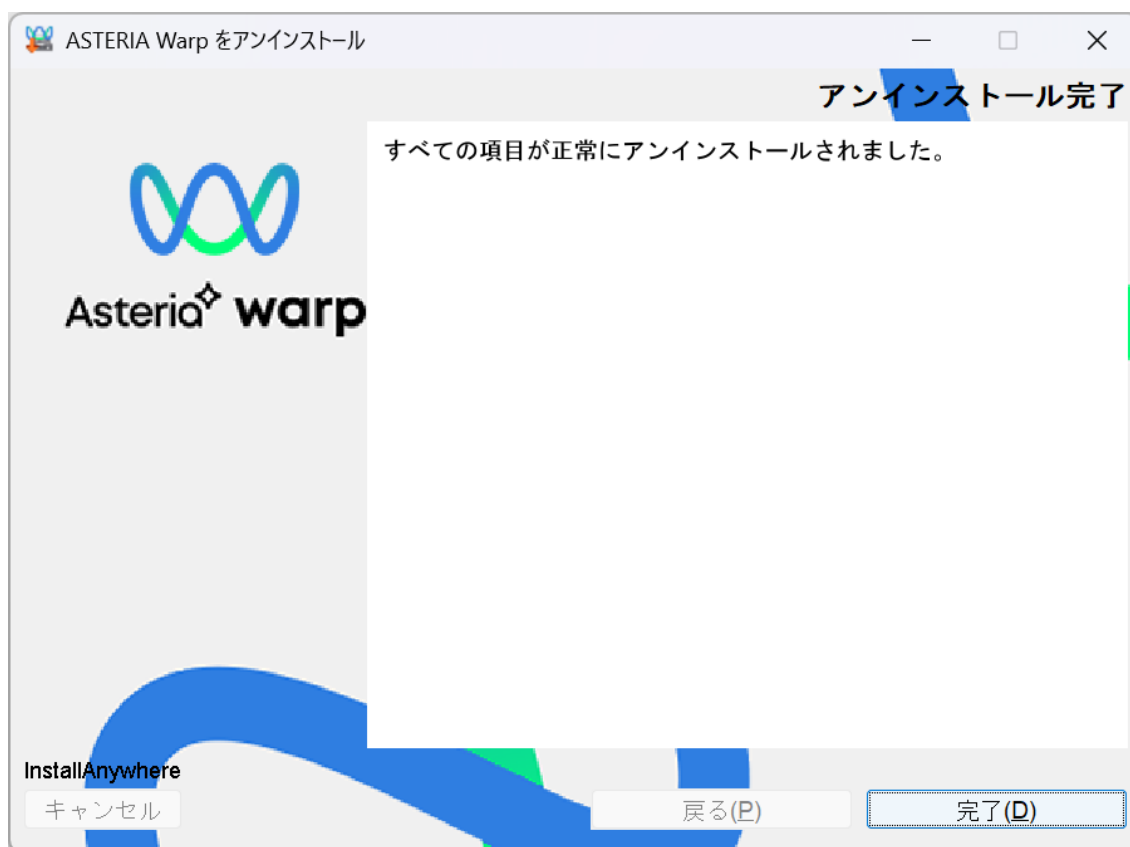


起動中のサービスは自動的に停止されますので「アンインストール」をクリックしてください。

18. アンインストールが開始されます。



19. アンインストールが完了するとアンインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。



20. インストール内容の確認画面が表示されます。



内容を確認したら「インストール」をクリックしてください。

21. インストールが開始されます。



22. インストールが完了するとインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックします。



## 2.1.2. Linux の場合

1. インストールユーザーでログインします。
2. フローサービスが起動している場合は停止します。
3. ユーザーサイトからダウンロードした以下のファイルを実行し、ASTERIA Warp サーバー(以下、サーバーと呼びます)のインストーラーを起動します。

install-asteriawarp6-linux.bin

```
# ./install-asteriawarp6-linux.bin
```

※インストーラーがすぐに終了してしまう場合は、事前にインストールした **Java** のパスを環境変数 **PATH** に追加してください。

4. インストーラーで使用する言語の選択画面が表示されますので使用する言語の番号を入力して<ENTER>キーを押してください。

```
=====
ロケールを選択...
```

```
-----
```

```
1- English
```

```
->2- 日本語
```

```
ロケールの番号を選択:
```

5. 開始画面が表示されますので<ENTER>キーを押します。

```
=====
開始画面
----

InstallAnywhere の指示に従って操作していくと、ASTERIA Warp を簡単にインストールできます。

このインストールを続行する前に、すべてのプログラムを終了することをお勧めします。

各指示に従って操作すると、次のインストール手順へ進むことができます。前の手順で指定した内容を変更する場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。

[終了] ボタンをクリックすると、いつでもインストールをキャンセルできます。

続行するには ENTER キーを押します:
```

6. 使用許諾契約の画面が表示されます。<ENTER>キーを押すと先に進みます。表示されるソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「Y」、同意しない場合は「N」を入力して<ENTER>キーを押してください。

```
=====
使用許諾契約
-----

ASTERIA Warp をインストールして使用するには、
以下の使用許諾契約に同意していただく必要があります。

ソフトウェア使用許諾契約書

.....

この使用許諾契約の条項に同意しますか。 (Y/N):
```

7. インストールフォルダの選択画面が表示されます。サーバーをインストールするフォルダを指定してください。バージョンアップする場合は旧バージョンのインストールフォルダを指定してください。

```
=====
インストール フォルダを選択
-----

インストール先を指定してください。

    デフォルトのインストール フォルダ: /home/user/asteria6

絶対パスを入力するか、ENTER キーを押してデフォルトを使用してください。 :
```

8. JavaVM の選択画面が表示されます。事前にインストールした Java のファイルパスを選択して<ENTER>キーを押してください。7. で旧バージョンのインストールフォルダを選択した場合はこの画面は表示されません。

```
=====
Java VM を選択
-----

インストールされたアプリケーションが使用する Java VM を選択してください。

->1- /home/user/jdk-21.0.5/bin/java

    2- システムにすでにインストールされている Java VM を選択

Java VM の番号を入力するか、または現在の選択項目を使用する場合は ENTER
キーを押してください。 :
```

9. インストール内容の確認が表示されます。内容が正しければ<ENTER>キーを押してください。

```
=====
インストール前の要約
-----

操作を続ける前に、以下の内容を確認してください。

製品名:
  ASTERIA Warp

インストール フォルダー:
  /home/user/asteria6

インストールする製品が使用する Java VM:
  /home/user/jdk-21.0.5

続行するには ENTER キーを押します。:
```

10. インストールが開始されます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----]
```

11. インストールが完了するとプロンプトが戻ってきます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----|-----]
#
```

## 2.2. 初期設定の実行

インストールが完了したら、次にサーバーの初期設定を行います。

### 2.2.1. 初期設定画面の起動

#### ■Windows の場合

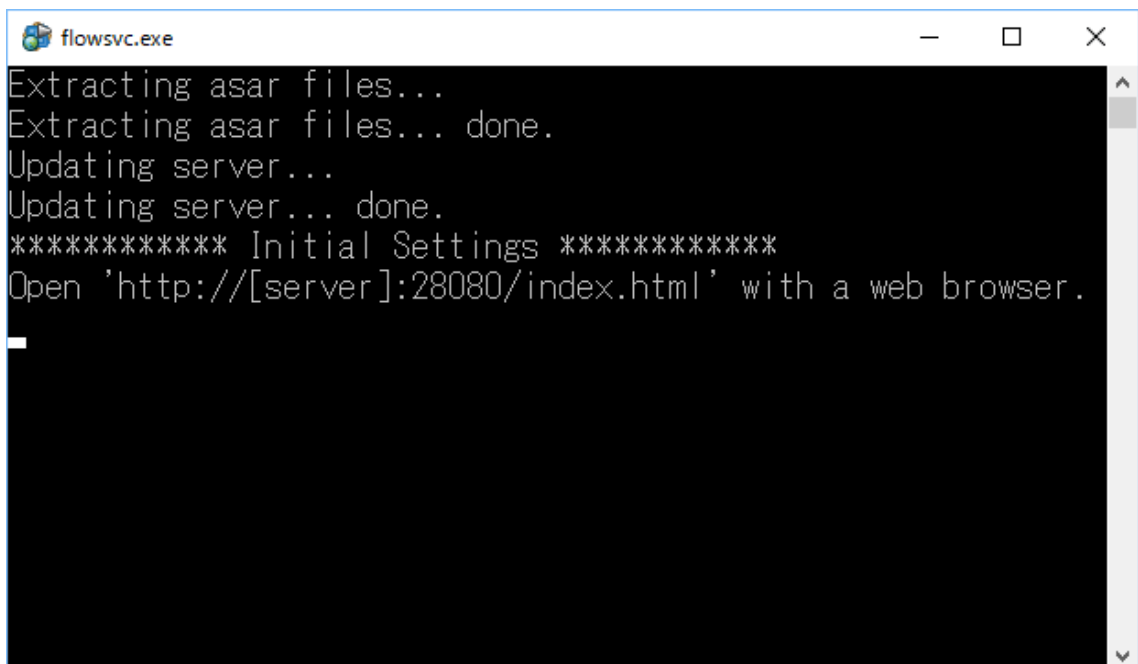
次の手順で初期設定画面を起動してください。

1. スタートメニューから「フローサービスの開始」を実行してください。



※インストール直後は Windows のサービスからは起動することができません。  
必ず、スタートメニューから起動してください。

2. コマンドプロンプトが開きサーバーのアップデート処理が行われます。
3. しばらくすると、初期設定画面が起動し次のように表示されます。

A screenshot of a Windows command prompt window titled 'flowsvc.exe'. The window has a black background with white text. The text shows the following sequence of operations: 'Extracting asar files...', 'Extracting asar files... done.', 'Updating server...', 'Updating server... done.', a separator line of asterisks, and the instruction 'Open 'http://[server]:28080/index.html' with a web browser.' There is a white cursor at the end of the last line.

```
flowsvc.exe
Extracting asar files...
Extracting asar files... done.
Updating server...
Updating server... done.
***** Initial Settings *****
Open 'http://[server]:28080/index.html' with a web browser.
```

4. ブラウザーから次の URL にアクセスします。

<http://localhost:28080/index.html>

※localhost で接続できない場合はサーバーの IP アドレスを指定してください。

#### ■Linux の場合

次の手順で初期設定画面を起動してください。

1. cd コマンドでインストールフォルダーに移動します。

```
# cd asteria6
```

2. 次のコマンドを実行し初期設定画面を起動します。

```
# ./boot/bin/flowsvc
```

3. 初期設定画面が起動できたかログを表示して確認します。次のように表示されたら初期設定画面は起動されています。

```
# cat boot/log/Bootstrap0.log
[2016-10-30T14:58:51.481 EDT] 情報 ***** Initial Settings *****
[2016-10-30T14:58:51.484 EDT] 情報 Open 'http://[server]:28080/index.html' with a web browser.
```

4. ブラウザーから次の URL にアクセスします。

<http://localhost:28080/index.html>

※localhost で接続できない場合はサーバーの IP アドレスを指定してください。

### 2.2.2. 初期設定画面でサーバーの初期設定を行います

初期設定画面が起動したらブラウザーで次の URL にアクセスします。

<http://localhost:28080/index.html>

※localhost で接続できない場合はサーバーの IP アドレスを指定してください。

ブラウザーに初期設定画面が表示されますので、次の手順でサーバーの初期設定を行います。

1. ユーザーサイトのアカウント情報を入力します。

契約設定

契約情報を入力してください

契約アカウント名 (メールアドレス) \*

user@test.com

契約アカウントのパスワード \*

●●●●●

次へ

2. ライセンスキーを入力します。

ライセンス設定

ライセンス情報を入力してください

ライセンスキー

戻る

次へ

事前にユーザーサイトからダウンロードしておいたライセンスキーを入力します。

3. サーバーの各種の設定情報を入力します。

## システム設定

システムの情報を設定してください

データフォルダー \*

C:/asteriahome6

ポート番号を選択してください : 20000 ▾

スーパーユーザー (/asu) のパスワード

●●●●●●

プロキシ情報を設定

戻る 次へ

ここではフローサービスの各種設定情報として以下の情報を指定します。

データフォルダー	フローサービスが使用するデータフォルダーを絶対パスで指定します。
ポート番号	フローサービスが使用するポート番号のベースとなる番号を20000/30000/40000の中から選択します。20000以外を選択した場合は、Windowsのスタートメニューにある、フローサービス管理コンソールのメニューは使用できません。
スーパーユーザーのパスワード	フローサービスのスーパーユーザーである「/asu」ユーザーのパスワードを指定します。
プロキシ情報	クリックするとフローサービスが通信するときに使用するプロキシの情報を設定することができます。プロキシを使用しない場合は設定する必要はありません。

#### 4. 新規ユーザーの作成

新規ユーザー

作業用のユーザーを作成する

ユーザーの情報を設定してください

ユーザーの権限を選択してください: developer ▼

ユーザーの名前\*  
guest

---

ユーザーのパスワード  
●●●●●●

---

ホームフォルダーにサンプルフローをコピーする

戻る
完了

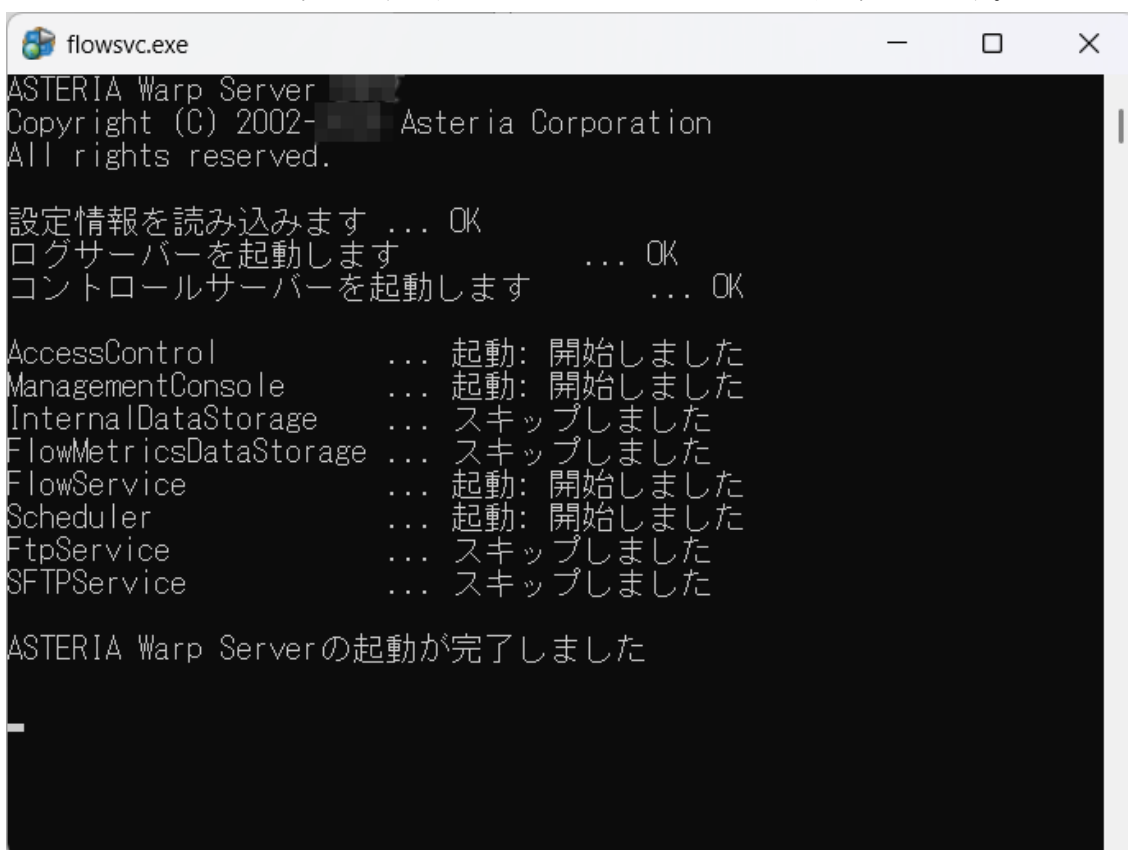
フローサービスでは作業用のユーザーが必要です。作業用のユーザーを作成するには「作業用のユーザーを作成する」チェックボックスをチェックし、以下の内容を入力します。

ユーザーの権限	ユーザーには「管理者(administrator)」「開発者(developer)」「運用者(operator)」の3種類の権限があります。それぞれの権限によりフローサービスで使用できる機能が制限されます。詳しくは管理コンソールのヘルプをご覧ください。
ユーザーの名前	作成するユーザーの名前を指定します。 作成したユーザーのホームフォルダーは、 [先ほど入力したデータフォルダー]/home/[ユーザーの名前] となります。
ユーザーのパスワード	作成するユーザーのパスワードを指定します。
ホームフォルダーにサンプルフローをコピーする	チェックするとユーザーのホームフォルダーにサンプルフローをコピーします。

5. 初期設定画面ですべての項目を入力し「完了」をクリックするとサーバーの初期設定が行われ、サーバーが起動します。



コマンドプロンプトには次のように表示されてフローサービスの起動が完了します。



6. Linux の場合は、`fsctrl` コマンドを実行してフローサービスの起動を確認してください。

```
# ./server/bin/fsctrl status
ASTERIA Warp Server Controller 2XXX
Copyright (C) 2002-20XX Asteria Corporation
All rights reserved.

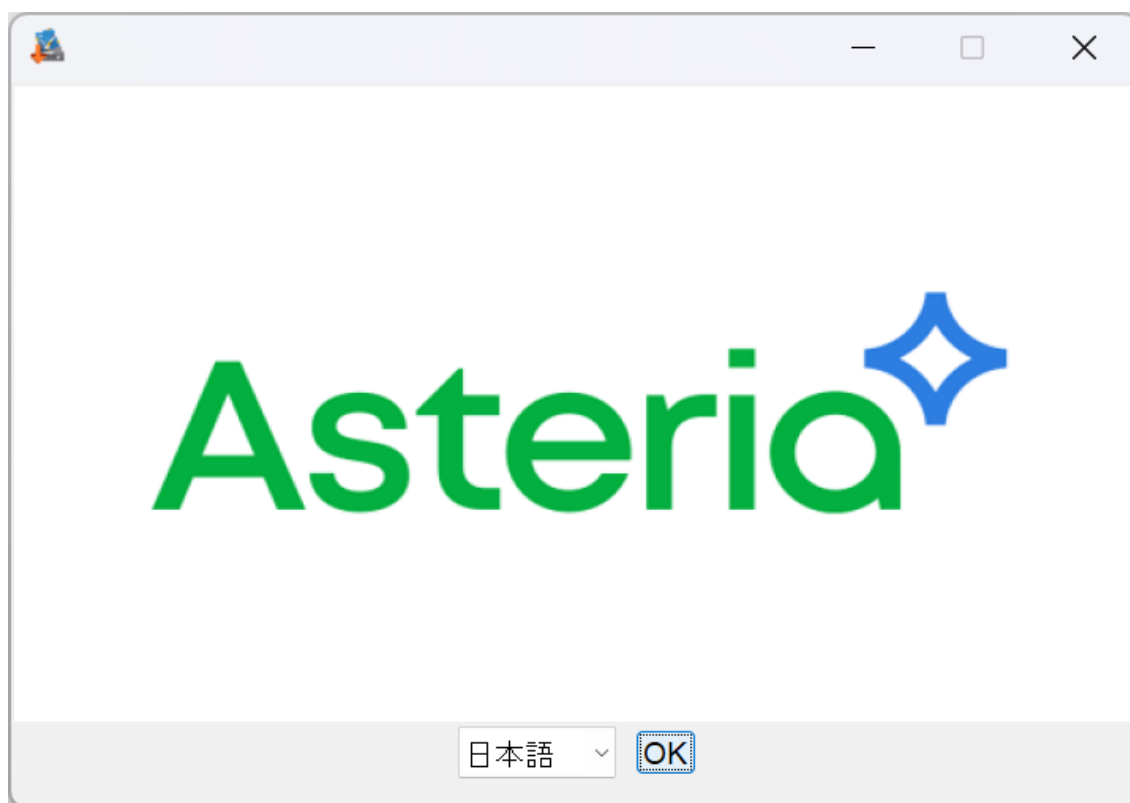
(localhost:29899)
Status...
AccessControl      ... Running
ManagementConsole ... Running
InternalDataStorage ... Stopped
FlowMetricsDataStorage ... Stopped
FlowService        ... Running
Scheduler           ... Running
FtpService          ... Stopped
SFTPService         ... Stopped
```

上記のように `Scheduler` が `Running` と表示されれば起動完了です。

### 3. フローデザイナーのインストール

フローサービスを利用する場合、フローを設計するための ASTERIA Warp フローデザイナー(以下、フローデザイナーと呼びます)を開発用のマシンにインストールしなければなりません。手順は以下のとおりです。

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. フローデザイナーを実行している場合は終了します。
3. ユーザーサイトからダウンロードした以下のファイルを実行します。  
install-designer-win.exe
4. 言語の選択画面が表示されます。

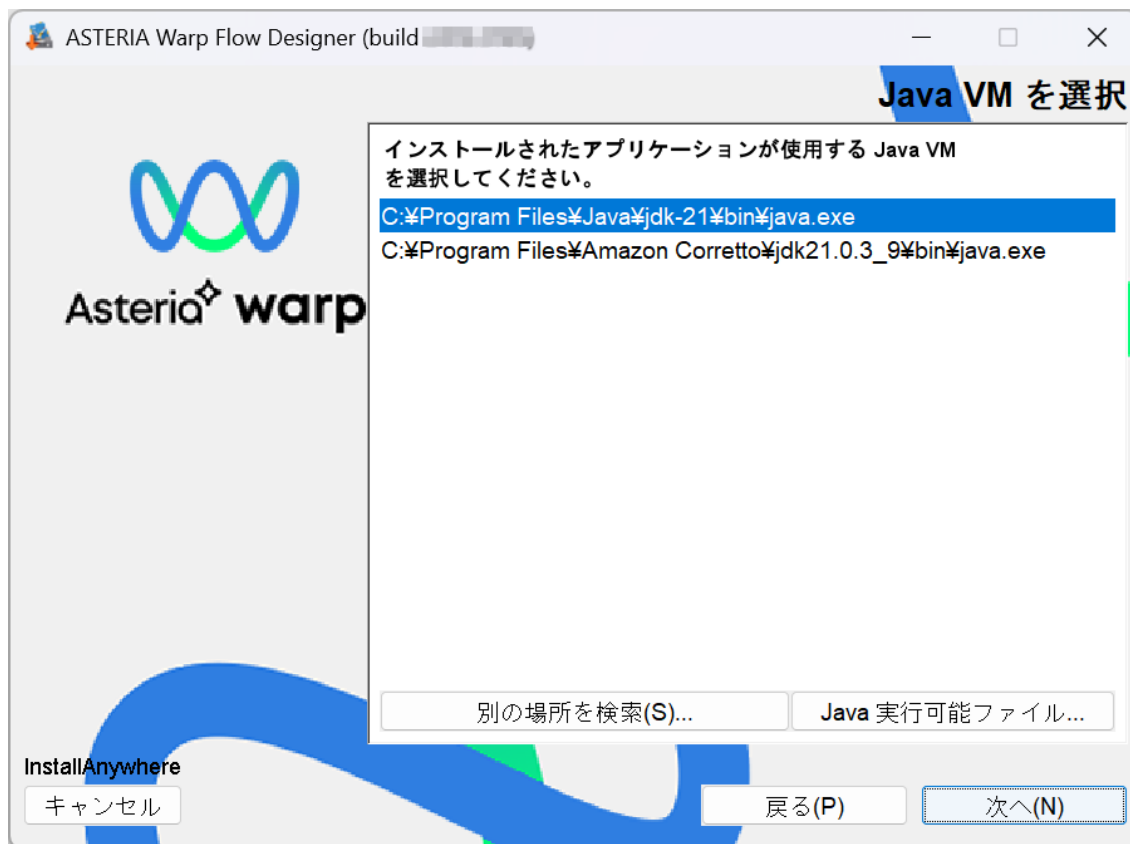


インストーラーで使用する言語を選択した後「OK」をクリックしてください。

5. インストールに際しての注意事項が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



6. JavaVM の選択画面が表示されます。



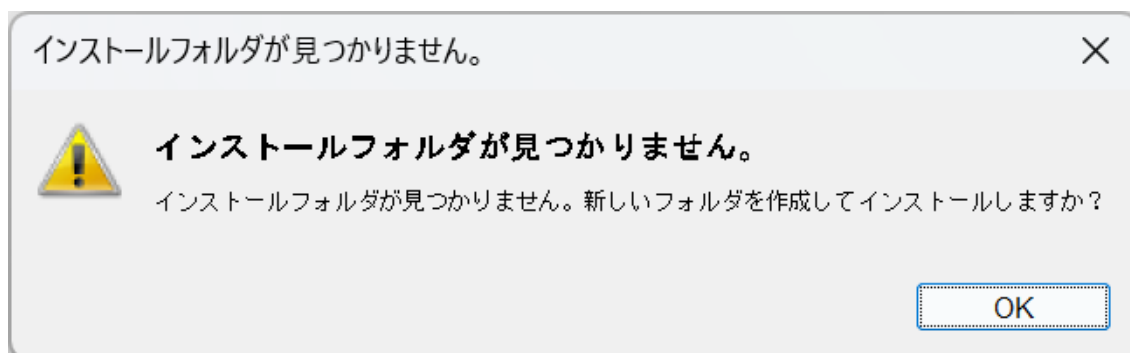
事前にインストールした Java のファイルパスを選択します。使用する Java が一覧に表示されていない場合は「別の場所を検索」ボタンで一覧以外の Java を選択することができます。

7. インストールフォルダの選択画面が表示されます。



フローデザイナーをインストールするフォルダを指定して「次へ」をクリックしてください。

指定したフォルダが存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



8. ショートカットフォルダの選択画面が表示されます。

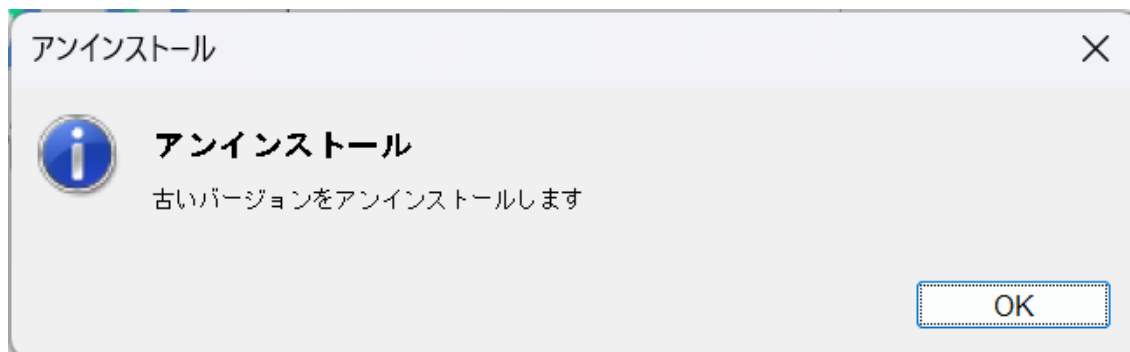


フローデザイナーをスタートメニューに登録する際のショートカットを作成する場所を選択します。

ショートカットフォルダを選択したら「次へ」をクリックしてください。

9. 過去のバージョンからアップデートする場合、過去のバージョンをアンインストールします。ここからはアンインストールが行われる場合に表示されます。新規にインストールする場合は 14. へお進みください。

10. アンインストールの開始画面が表示されます。



過去のバージョンをアンインストールします。「OK」ボタンをクリックしてください。

11. アンインストーラーが起動します。

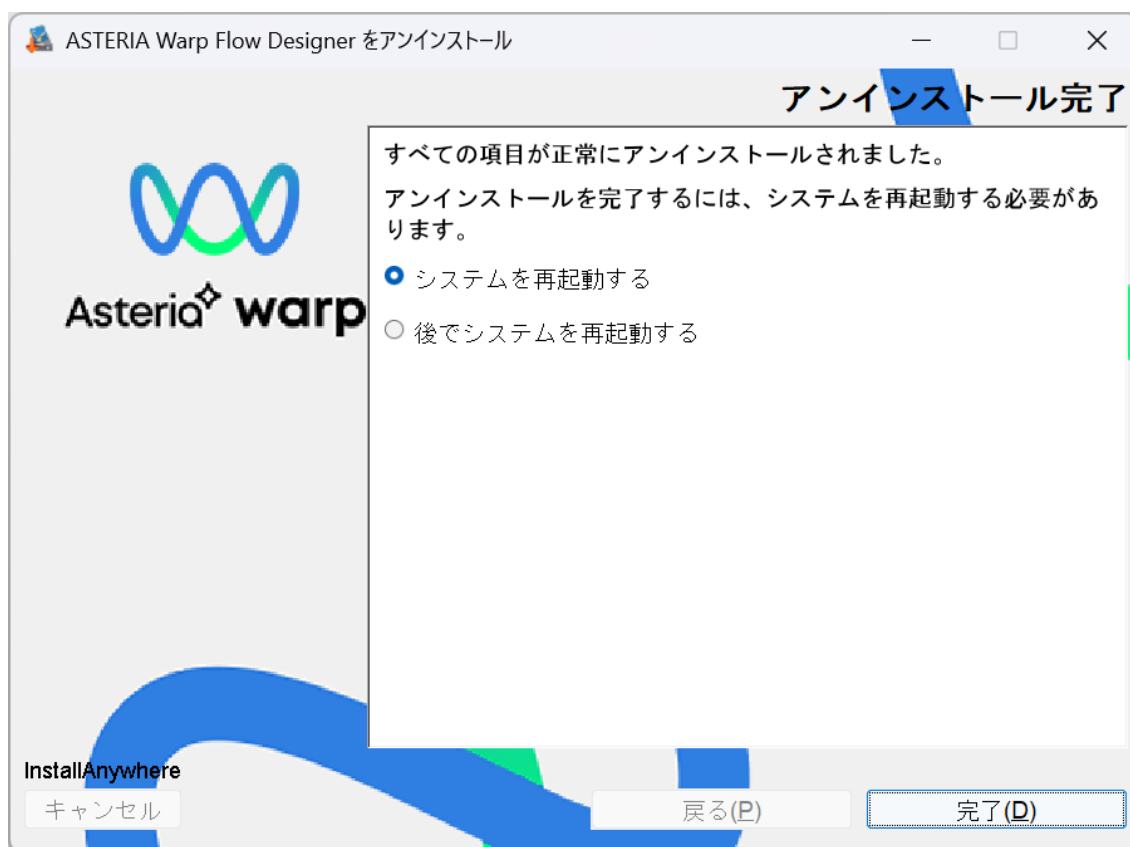


フローデザイナーを起動している場合はフローデザイナーを終了した後、「アンインストール」をクリックしてください。

12. アンインストールが開始されます。



13. アンインストールが完了するとアンインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。



もしもこの画面で再起動に関するメッセージが表示された場合は「**後で再起動**」を選択してください。

14. インストール内容の確認画面が表示されます。



内容を確認したら「インストール」をクリックしてください。

15. インストールが開始されます。



16. インストールが完了するとインストール完了画面が表示されますので「完了」をクリックしてインストーラーを終了してください。



## 4. インストール後

### 4.1. フローサービスの起動

フローサービスは次のいずれかの方法で起動できます。

- Windows サービスからの起動

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA Warp6」を起動します。

- Windows スタートメニューからの起動

Windows のスタートメニューから「ASTERIA Warp6」-「フローサービス開始」を実行します。

※インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの起動

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/boot/bin/flowsvc` を実行します。

### 4.2. フローサービスの停止

フローサービスは次のいずれかの方法で停止できます。

起動方法に応じた停止方法でサービスを停止してください。

- Windows サービスからの停止

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA Warp6」を停止します。

- Windows スタートメニューからの停止

Windows のスタートメニューから「ASTERIA Warp6」-「フローサービス停止」を実行します。

※インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの停止

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/boot/bin/fsstop` を実行します。

### 4.3. フローデザイナーの起動

フローサービスで動作させるフローは、開発用のマシンにインストールしたフローデザイナーを使って開発します。

フローデザイナーは、Windows のスタートメニューから「ASTERIA Warp Flow Designer6」-「フローデザイナー」を実行することで起動できます。

※インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

#### 4.4. フローサービス管理コンソールへのアクセスについて

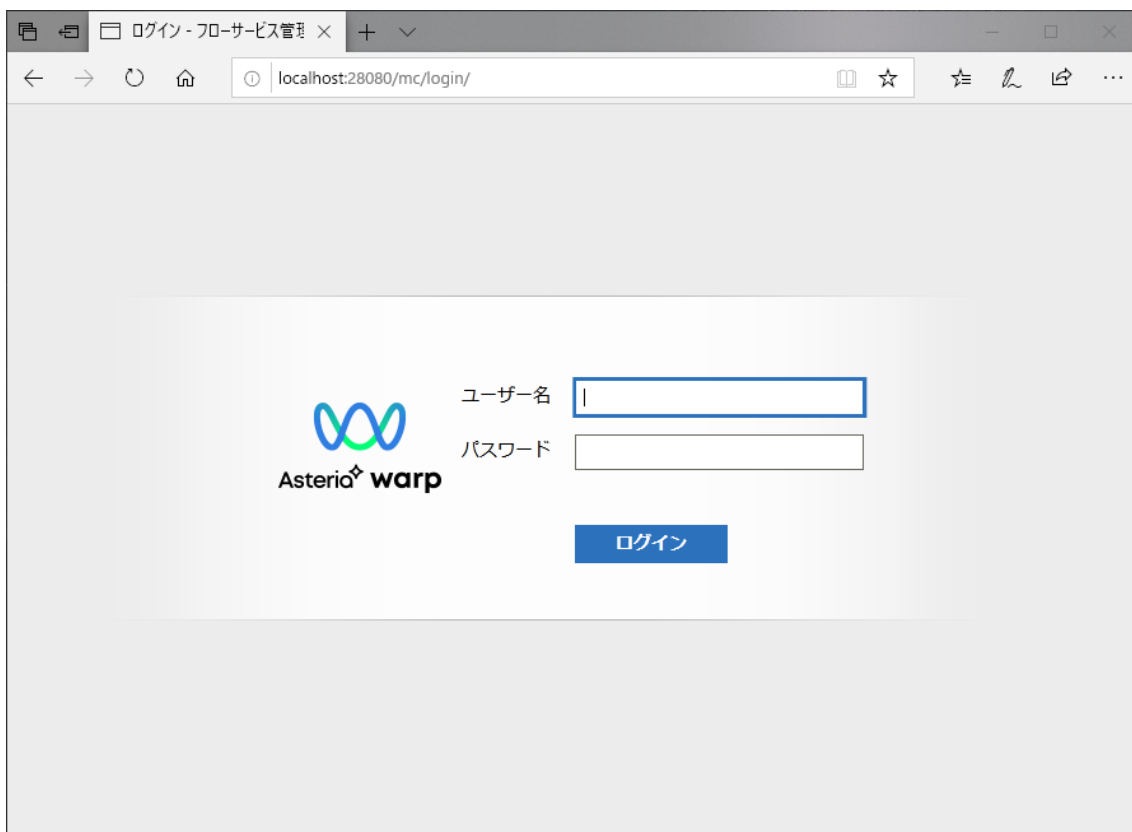
フローサービスで利用するユーザーの作成や各種設定、ログの参照、サービスの起動設定などは、「フローサービス管理コンソール」にて行います。利用するには、Web ブラウザーから以下の URL にアクセスします。

`http://<server>:28080/`

<server>部分は、サーバーをインストールしたマシンの IP アドレスまたはホスト名を入力します。ポート番号である 28080 の数字は、初期設定画面で指定したポート番号に応じて 28080/38080/48080 のいずれかを指定してください。

#### 4.5. フローサービス管理コンソールへのログインについて

フローサービス管理コンソールのトップページにて、「ユーザー名」「パスワード」の各欄にフローサービスのユーザーの情報を入力しログインします。インストール直後の場合は初期設定画面で設定したスーパーユーザーか作業用のユーザーでログインすることができます。



ログインすると、以下の画面が表示されます。

The screenshot displays the WARP application interface. On the left is a vertical sidebar with the following items: a blue header with a left arrow and the text 'warp'; a '状態' (Status) icon; a '設定' (Settings) icon; a 'ツール' (Tools) icon; a 'システム' (System) icon; and a 'ヘルプ' (Help) icon. The main content area features a top navigation bar with icons for 'ログ' (Log), 'フロー' (Flow), 'バージョン管理' (Version Management), 'チェックポイント' (Checkpoint), and 'ログアウト' (Logout). Below this is a secondary bar with 'システム' (System) and 'アプリケーション' (Application) tabs. The main workspace contains a search and filter section. At the top, there are dropdowns for 'ファイル名' (File Name) set to 'FlowService' and '出力レベル' (Output Level) set to '情報' (Information), followed by a blue 'ダウンロード' (Download) button. Below this are two boxes: '表示オプション' (Display Options) with '表示' (Display) set to '1000' items, a checked '逆順表示' (Reverse Order) checkbox, and '文字サイズ' (Font Size) set to '12' pt; and '検索オプション' (Search Options) with a 'キーワード' (Keyword) input field, radio buttons for 'OR' (selected) and 'AND', a blue 'クリア' (Clear) button, and a date-time range from '2024-12-22 00:00' to '23:59'. A blue '表示' (Display) button is centered below these options.

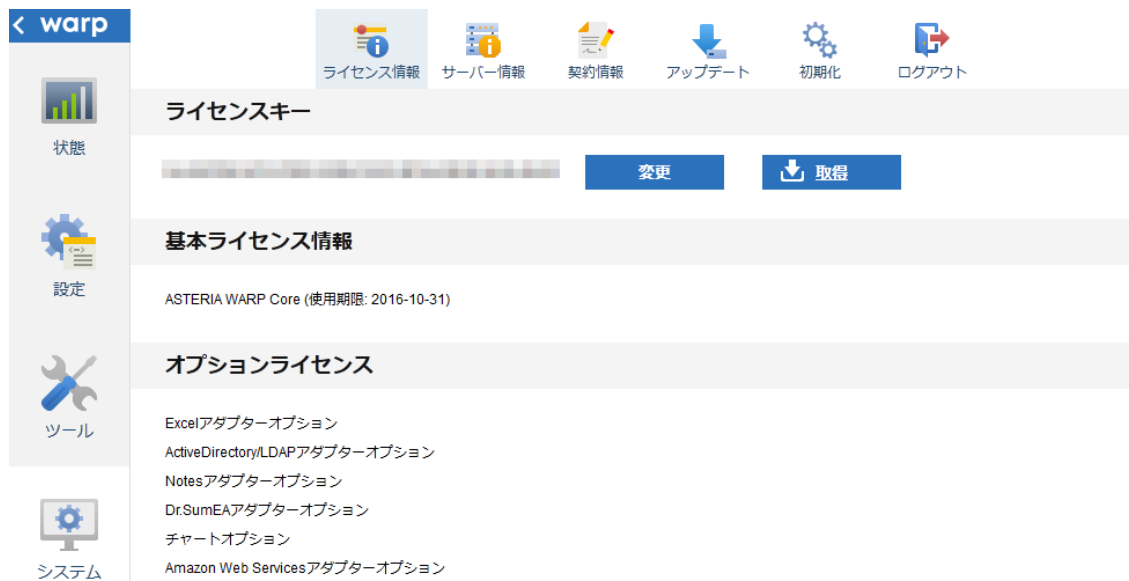
## 4.6. アダプターの適用方法について

フローサービスの各種アダプターを購入し、アダプターをユーザーサイトからダウンロードした後、次の手順でサーバーとフローデザイナーに適用します。

**サーバーのバージョンアップ実施前にインストールフォルダーとデータフォルダーをバックアップしてください。また、フローデザイナーのバージョンアップ実施前にフローデザイナーのインストールフォルダーをバックアップしてください。**

### ■サーバーへの適用方法（オンライン環境）

1. **Standard/Enterprise** エディションでサブスクリプションでない場合はユーザーサイトから新しいライセンスキーをダウンロードします。
2. フローサービス管理コンソールに管理者権限のユーザーでログインします。
3. 「システム>ライセンス情報」画面を表示します。**Core**、**Core+**、**Core++**、または、**Standard/Enterprise** エディションのサブスクリプションの場合はライセンスキーの横に表示される「取得」ボタンをクリックしてライセンスキーを更新します。**Standard/Enterprise** エディションでサブスクリプションでない場合はライセンスキーの横に表示される「変更」ボタンをクリックし、1. でダウンロードしたライセンスキーを入力してライセンスキーを更新します。



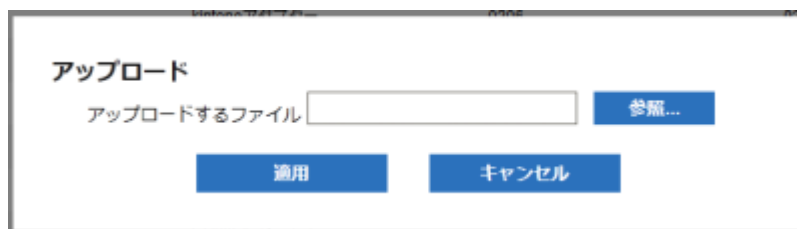
4. サーバーを再起動します。



4. サーバーを再起動します。
5. 「システム>アップデート>アダプター」画面を表示します。



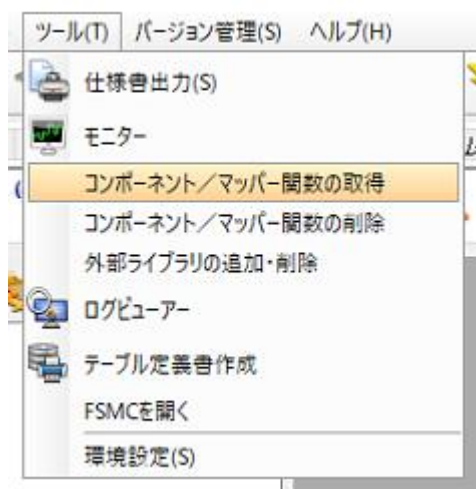
6. アクションバーの「アップロード」メニューをクリックし、ユーザーサイトからダウンロードしたアダプターをアップロードします。



7. サーバーを再起動します。

#### ■フローデザイナーへの適用方法

1. アダプターを適用済みのサーバーへフローデザイナーで接続します。
2. メニューの「ツール>コンポーネント/マッパー関数の取得」でアダプターの jar ファイルをダウンロードします。



3. フローデザイナーを再起動します。

## 4.7. フローサービスの利用方法について

フローサービスの詳細については次のドキュメントを参照ください。  
いずれのドキュメントも製品サイトからアクセスできます。

- 「フローサービス マニュアル」  
(フローデザイナーの「ヘルプ」-「ヘルプ」メニューからもアクセスできます。)
  - はじめに
  - フローデザイナー操作ガイド
  - コンポーネントリファレンス
  - マッパー関数リファレンス
  - 運用ガイド
- 「フローサービス管理コンソール オンラインヘルプ」  
(フローサービス管理コンソールの「ヘルプ」-「ヘルプリンク」メニューからもアクセスできます。)
- 英語・中国語のドキュメント  
ユーザーサイトの「ダウンロード」メニューから英語と中国語のドキュメントをダウンロードすることができます。

## 5. アンインストール

### 5.1. サーバー アンインストール手順

#### 5.1.1. Windows の場合

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを停止します。
3. スタートメニューから「Uninstall ASTERIA Warp」を実行します。
4. 必要に応じてデータフォルダーを削除します。

- ※ インストールフォルダーには一部のファイルが残ることがあります。完全にアンインストールするには、アンインストーラー実行後にインストールフォルダーを削除してください。
- ※ データフォルダーはアンインストールされません。完全にアンインストールするにはデータフォルダーも削除してください。
- ※ サーバーなどが実行中の場合、アンインストールが正しく実行されない場合があります。必ず終了させてからアンインストールを実行してください。

#### 5.1.2. Linux の場合

1. インストールユーザーで OS にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを停止します。
3. インストールフォルダーを削除コマンドで削除します。
4. 必要に応じてデータフォルダーを削除します。

- ※ 削除コマンドの使い方は OS のマニュアル等を参考にしてください。

### 5.2. フローデザイナー アンインストール手順

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. フローデザイナーを実行中の場合はデザイナーを終了します。
3. スタートメニューから「Uninstall ASTERIA Warp Flow Designer」を実行します。